

城西きずなクラブだより

お花ばたけ

第66号

編集発行

城西きずなクラブ

事務局 城西公民館内

TEL 26-2659

印刷

千鳥印刷株式会社

TEL 21-7155

きずなクラブが中心となって「高齢者生きがい事業」

子ども達とスカットボール競技

城西わいわい広場実行委員会 高橋美行

日頃から運動不足の人、ストレスが溜まっている人、気分をスカットさせたい人、さあーこの時とばかり、玉入れ“に挑戦してみませんか。というわけで、松江市(健康福祉部)が企画した「高齢者生きがい事業」を活用した「スカットボール競技」が、8月27日城西公民館大ホールで行われ、総勢73名(小学生31名)のみなさんに参加いただきました。

この補助事業は、自宅に引きこもりがちな高齢者に対して、生きがいを感じることをつくり、健康寿命の延命を図ることを目的に企画されたものです。

城西地区におきましても、この事業の後押しをしようと6月1日にスタートしています。

競技を実施するにあたっては、「城西らしさを出そう」ということで、高齢者を主体に子ども、親世代と一緒に楽しむ場を作り、相互のふれあいを深め、高齢者自らの健康づくりと地域の一体感を図ることを目的としたものです。

3世代が参加したスカットボールは、経験不問、ルールは簡単、老若男女誰でも気軽に出来ることから、きずなクラブでも年2回行われるなど、結構人気のあるニュースポーツです。

子どもたちの参加は初めての試み。最初はステイック

棒の握り方、構え方、打ち方まで全くの「ゼロスタート」でしたが、コツを覚えると成長の速さには驚くばかり！上位30位に9名の子どもたちが占める活躍に、結構、対抗意識をもってハッスルされていた方もおられるなど、微笑ましい一面も見られました。いずれにしても、若いエキスをもらって若返った気分になれたのは確か。会場は始終盛り上がり、みなさん良い汗をかきました。

この事業は、今後も続けていく予定です。普段運動に縁もなく自宅に閉じこもりがちな方、この際外に出て「わいわいと楽しく」体を動かしてみませんか。

最後に、今競技進行にご協力頂きました運営協議会関係者、きずなクラブ、児童クラブの皆様方には、大変お世話になりました。有意義な競技になりました。ありがとうございました。



城西きずなクラブ活動の記録

- 5月1日、2日 松江城山本丸 千鳥茶屋開設
 3日 健康ウォーキング 20名参加 城山ナンジャモンジャコース
 7日 5月理事・評議員会
 17日 健康ウォーキング 21名参加 宍道湖夕日スポット
 26日 松江市高齢者クラブ連合会総会
 28日 単老対抗ペタンク大会



健康ウォーキング城山コース

- 6月4日 市高連ニュースポーツ大会
 グランドゴルフ大会
 ペタンク大会雨天中止
 7日 健康ウォーキング 24名参加 城山周辺コース
 11日 6月理事・評議員会
 市高連女性部総会
 19日 正副会長、単老会長による役員会
 21日 健康ウォーキング 19名参加 城山森林浴コース



- 7月2日 第1回人事検討委員会
 7月理事・評議員会
 5日 健康ウォーキング 17名参加 白濁天満宮方面コース
 16日 単老対抗スカットボール大会
 19日 健康ウォーキング 22名参加 稲荷神社方面コース



水郷祭後片付け

- 8月2日 健康ウォーキング 23名参加 城山一周コース
 6日 高齢者スポーツ大会体育担当者会議
 7日 「お花ばたけ」編集会議
 8日 第2回人事検討委員会
 8月理事・評議員会
 16日 健康ウォーキング 8名参加(雨天) 城山一周コース
 31日 水郷祭後片付け 26名参加



高齢者スポーツ大会

- 9月1日 第3回人事検討委員会
 2日 市高連主催高齢者スポーツ大会
 3日 9月理事・評議員会
 城西運動会の周知・交通安全の意識を高めるパレード 雨天中止
 7日 城西運動会参加 玉送り
 9日 「お花ばたけ」編集会議
 18日 秋の交通安全推進の集い参加
 21日～30日 秋の全国交通安全運動
 22日 街頭啓発運動参加
 24日 女性委員会
 29日 城西きずなクラブ研修旅行



城西運動会 玉送り

健康・保健部

盛大に終わる

スカットボール大会

健康・保健部 平野 長平

高齢者にも手軽に参加でき、「スカットとス」と人気のスカットボールですが、きずなクラブにおいても大会の数を重ねる毎に人気です。

26年度1回目となる今回の単老対抗戦も、総勢80名にのぼる選手の参加で、大いに盛り上がりました。

練習による熱気がおさまらない雰囲気の中で、きずなクラブ会長に開会の挨拶をいただいた後、定刻の1時半から試合開始となりました。

団体戦は、10名の選手からなる各単老チームの3試合の合計得点による対抗戦で、結果は以下のとおりでした。

- 優勝 外中原
- 2位 国屋下
- 3位 茶町

選手の皆さん、大会スタッフ、役員の皆様のご協力で、賞品授与も含め3時半頃に大会は無事終了しました。

今年度は、予算が前年度に比べて若干増え、賞品の質を多少上げることができ、選手の皆さんには喜んでいただけたかと思えます。

26年度2回目も開催予定ですので、皆様のご参加を期待しています。



個人優勝の永野さん(外中原)のプレー

松江市高齢者スポーツ大会 観戦記

〜和と絆続けて10周年 生涯現役頑張ろう〜

健康・保健部 森 広敏章

松江市高齢者クラブ連合会等主催のスポーツ大会が、9月2日(火)鹿島総合体育館で開催されました。平成17年に第1回が開催され、今年が丁度10回目となり記念大会として、29地区から選手、応援の方2,000名弱、大会運営役員約100名にて行われましたが、運営スタッフの一員(用具係)として初めて本大会を目近かに体験させて頂きました。競技種目は個人、団体共に5種目ずつあり、個人競技では風船を尻圧で割りゴールまで走る「風船割り競争」等、団体競技では男女が手を取り合って一斉にスタート、障害物(コーン)を避けて蛇行し、所定の位置で男性が玉を3m前方の女性を持つバケツに投げ入れ、10個全部入れたら二人でバケツを持ってゴールまで走る「蛇行玉入れ競争」等、適度に競争心と団結を鼓舞する工夫された種目ばかりでした。昨年松江市出身の順天堂大学の先生から「高齢者の健康とは、生死や疾病の有無ではなく、生活機能の自立の度合いで評価すべきである」と身体を動かすことの大切さを聞きました。が、選手や観客として本大会を未体験の方は、一度体験されてはいかがでしょう。健康寿命が伸びること間違いなしと強く感じた1日でした。

城西チームの成績(順位)は、選手の方々の健闘の結果、昨年より二桁アップし19位でした。



高齢者スポーツ大会出場者名簿

区分	種目	氏名男子	氏名女子	単老名
個人	ピン倒し競争	武志幸雄	梶谷芳子	内中原
団体	ボール転がしリレー	平野長平	和田さかえ	外中原
個人	綱釣り競争	馬庭洋美	馬庭敦子	国屋上
団体	ボール順送りリレー	嘉村 章(新国屋)	野津照江(茶町)	
		山本一賢(外中原)	園山鈴子(南平台)	
		三代嶋大(南平台)	岡田節子(中原)	

個人	ラケットで球運び競争	野津 晃	村上悦子	茶町
個人	風船割り競争		影山清子	国屋下
団体	ゲート通りリレー	金築武史	藤井英子	中原
個人	輪投げ競争	長崎靖雄	原 郁子	南平台
団体	蛇行球入れ競争	渡部 治	西村桂子	新国屋

団体	玉入れ競争	関谷 満(茶町)	石原成子(茶町)	
		渡野勝徳(国屋下)	山崎美智子(新国屋)	
		加茂久雄(内中原)	大井伊奈子(南平台)	
		橋田耕一(外中原)	福村美津子(内中原)	
			都谷光子(外中原)	
		鶴岡民子(国屋上)		

城西地区出場 役員2名、男子選手14名、女子選手17名 応援出場15名

女性部から

活動報告

女性部長 山崎美智子

②7月22日 松江市保険福祉総合センターあ

①県老連主催による「友愛活動スーパードライザー養成研修会」が、7月15日・16日の2日間「いきいきプラザ島根」で行われ、きずなクラブより藤井副部長と参加、1日目県老連事務局長から友愛活動の大切さ、すすめ方の講義、いきいきクラブ体操、山口県立大の坂本俊彦教授による講演、2日目出雲市社会福祉協議会、大森康正氏の講義、又これからの友愛活動の取り組みをテーマに演習、意見交換をしました。今後役に立てていきたいと思えます。



若手委員会から

平成26年4月〜8月新人会の皆さん

国屋下単老

長野

充子さん

南平台単老

安倍

初江さん

外中原単老

佐藤

勝亮さん

茶町単老

原

郁子さん

岩成

岩成

茶町単老

井原

敏之さん



各部新委員名簿

●若手委員会

役職	氏名	所属
委員長	高橋 美行	外中原
副委員長	三島 治夫	外中原
//	武志 幸雄	内中原
//	金築 武史	中原
//	足立 順	茶町
//	多久和成行	南平台
//	西村 桂子	新国屋
//	小川 武	国屋上
//	上田 一利	国屋下
その他75歳以下全員委員		

●友愛部

役職	氏名	所属
部長	渡部 治	新国屋
副部長	本田 明夫	外中原
//	田中 大	内中原
//	神田 敦代	中原
//	野津 晃	茶町
//	園山 鈴子	南平台
//	阿部 國廣	国屋下

●奉仕部

役職	氏名	所属
部長	松鹿 慎	南平台
副部長	内藤サチ子	外中原
//	松原 昭	内中原
//	原田 一夫	中原
//	友田 初子	茶町
//	久村 孝雄	南平台
//	松本千津子	新国屋
//	渡野 勝徳	国屋下

中原ことぶき会

会長 妹尾 欣一

中原ことぶき会は、愛宕下、清光院下、堂形後丁、土手東、土手西、小片原、百姓町以上8町内で会員総数120名で構成されています。平成26年度も半分方過ぎました。中原ことぶき会は会員の皆様方がことぶき会行事にとっても心良く積極的に参加していただいています。

今後の単老活動について。
新入会員の加入促進に力を入れ、その中でも60才台の方を極力増員するように頑張りたいと思います。



内中原わかたけ会

会長 加茂 久雄

内中原町は、松江城の西側、内堀川・四十間堀川・京橋川に囲まれ南北に長い長方形の地域です。5月の連休頃には、真っ白な雪をかぶったようにナンジャモンジャの花が咲く等、すばらしい環境にあります。5つの町内会、会員数 96名、8名の幹事で運営しています。

5月30日に城西ふれあいホールにおいて、平成26年度の総会を開催しました。会員皆様の活発な質疑応答があり、充実した内容の濃い総会ができました。

今年初めての試みとして、総会の前にはスカットボール、ジャンケンペタンコに参加者全員に体験してもらいました。このことは好評のようで、これを契機に定期的に実施してほしいと提案があり、次のような内容で取組むことになりました。皆さん、参加してください。
.....
趣 旨 .. 軽スポーツで健康増進と親睦を深めよう
会 場 .. 城西ふれあいホール
実施月 .. H26年7月より
実施曜日 .. 毎月第4月曜日 10時~11時まで
但し、祝日の場合はお休みとします。
種 目 .. スカットボールとジャンケンペタンコ



外中原ことぶき会

7月の単老対抗スカットボール大会で団体初優勝、さらには個人戦でも初参加の永野さんが1位となり大いに意気上がる外中原ことぶき会です。

外中原ことぶき会では、日帰り旅行をかねた総会を毎年行っています。今年度は、5月はじめに、会員30名の参加を得て、亀高温泉の玉峰山荘で行いました。

総会では、前年度の事業報告、会計報告および、会長の交代(楠田前会長から平野新会長)が承認されました。

型どおりの総会はずくに終え、昼食までの時間、温泉に入ったり、しゃくなげの花咲く遊歩道の散策、お土産の買い物など、各人ゆったりとした気分にしたっていただくことができました。

昼食を兼ねた宴会は大いに盛り上がりましたが、3時頃には無事2台のマイクロバスで帰途に就くことができました。



奥出雲 玉峰山荘での懇親会



学童登校時見守り 砂子町三差路

会長 平野長平

茶町ことぶき会

人気の紺屋こうや小路通り

東茶町商店街は、京店商店街の延長で、かつては人通りも多く又商店も多く有り松江の銀座通りと言われていました。

夕方には、アーチ型のネオンが付いて、とても綺麗な賑やかな通りでした。それが時代と共に途々に商店が減り住宅になったり駐車場になったりで人通りが減り様子が変わってきました。ところが近年人通りが増えました。それは平成8年に東茶町から片原町に抜ける紺屋小路と言う小道が浪花寿司の東側に新しく出来たからです。

ここに縁起の良いハート印が石畳に大小2個刻んであります。それを捜し当てると、とても良い縁があると言われていてそれに人気が出て若い人達が大勢訪れています。皆様も一度捜しに来て見ませんか。



会長 野津 晃

お仲間紹介

唄って踊って大活躍の13名 国屋上おもと会「政夜民謡クラブ」

代表 三代良枝

仲間つくりとボケ防止を目的に始めたクラブも9年目を迎えました。

国屋上地区在住の原文男氏(安来節保存会では、鼓は名人。唄、踊、絃は大師範の資格保持者)の御好意で月に2回稽古をつけて頂いています。

「覚えるよりも忘れる方が早いね」と言いながらも楽しく唄っています。おもと会員以外の高齢者の方も数人加わり現在13名の在籍です。設立4年目からは小川倍恵会員に事務局を担当して貰い活動の幅が広がりました。松江市ボランティア連絡協議会に加入して県社協や市社協から助成金を頂き法被、銭太鼓を揃えたり、交通費に充当しながら、市内の高齢者介護施設、各地区のなごやかより合い事業、自治会主催の敬老会等へ年間20数回訪問しています。

お客様に歌詞カードを配布し、原師匠の三味線と私たちの唄の先導と一緒に大声で歌っていただきます。こうして各所で親交を深めております。いつまでも皆さんと一緒に、元気で唄い続けたいと思います。



城西のお宝 その7

二つの不可能に挑戦した松村豊吉

城西公民館長 森 泰記

今からおよそ80年ほど前の9月のある晴れた日の朝のことです。

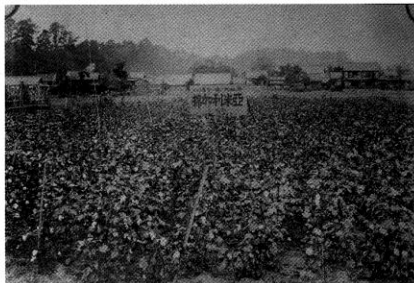
「できた！できたぞ！ついにやったぞ！一人の老人が四十軒堀に沿った畑の中で大声で叫びました。日本で栽培するのは絶対不可能と誰もがあきらめていた棉の花が次々開いたのです。子どもの時からずーっと思っていた夢が今、この城西の畑で実現するなんて！

この花を咲かせるために失敗に失敗を重ねた何十年間の苦心の毎日を思い出すと老人の目は熱い涙でいっぱいになりました。

研究一筋に生きた城西人、松村豊吉の喜びの一瞬でした。

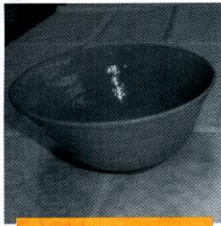
知る人ぞ知る。豊吉は北海道でも活躍。

「少年よ、大志を抱け！」の言葉で有名なクラーク博士は北海道で安定した米づくりは無理であると主張しましたが、それもまた豊吉によって見事にくつがえされたのです。二つの不可能を可能に変えた城西の松村豊吉、ひたすら研究に打ち込んだ豊吉と彼を支えたエイ夫人、城西ですごいところですね。

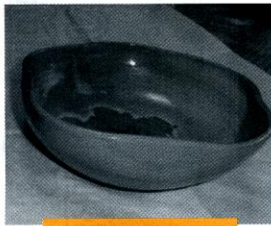


棉畑

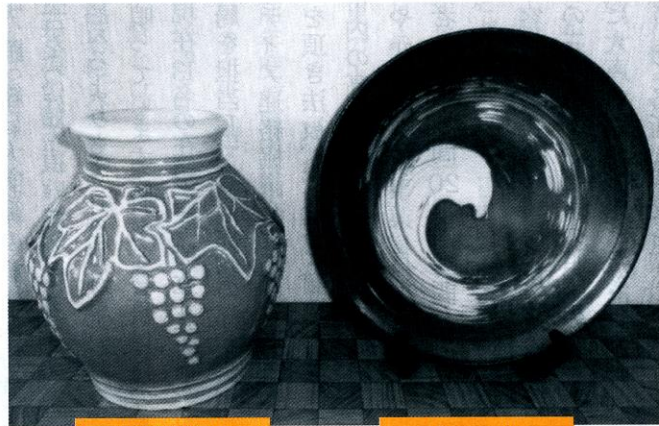
私の作品



井戸風茶碗



梅鉢



花瓶(葡萄)

中皿



カーデガンの袖を使って



黒色Tシャツを使って



赤色Tシャツを使って



百均の青色に白模様ハンカチ3枚で

陶芸

末次町 関谷 満さん

手づくり帽子

南平台 吉岡シズエさん

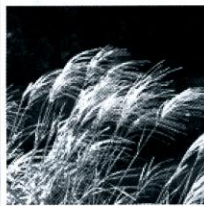
編集後記

大きな土砂崩れ災害がお隣の広島県で起こりました。何人の方がなくなられた痛ましい事故でした。

昨年引き続き今年も経験したことがない大きな風水害が各地で起こっています。松江でも水害から守るための大橋川工事が続けられています。

行政ばかりに頼ってはおられません。もう一度松江市から配布されているハザードマップを見返しながら、自然災害から守るための対策を立てておく必要がありますね。

今年の中秋の名月はことのほか美しかったです。



編集委員

阿部國廣